

2021年1月

## < eMAXIS Neo シリーズ >

追加型投信 / 内外 / 株式 / インデックス型

AIが銘柄選択する指数の活用

# 革新的テーマの成長性を探る

\* eMAXIS Neo シリーズは、AIが銘柄選択した指数に連動する投資成果を目指したファンドです



自動運転



バーチャル  
リアリティ



ナノテクノロジー

\* 上記画像はイメージです。

eMAXIS Neo

投資のインフラに“革新”をプラス

イーマクシス・ネオ

eMAXIS Neo 宇宙開発、eMAXIS Neo ロボット、eMAXIS Neo 遺伝子工学、eMAXIS Neo バーチャルリアリティ、eMAXIS Neo ナノテクノロジー、eMAXIS Neo ドローン、eMAXIS Neo 自動運転、eMAXIS Neo フィンテック、eMAXIS Neo ウェアラブルを総称して「eMAXIS Neo (イーマクシス・ネオ)」、  
「eMAXIS Neo シリーズ」、各々を「各ファンド」ということがあります。本資料はeMAXIS Neo シリーズについてご紹介するために概略を記載したものです。  
そのため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。  
p3以降の各テーマについては、2020年12月末時点のeMAXIS Neo シリーズ純資産上位3ファンドを取り上げています。

# - 注目される革新的テーマの成長 -

当シリーズが投資対象とする各テーマの市場規模は、今後も成長することが期待されます。



**宇宙開発**

市場規模成長率予想  
(2018年～2040年)

年率 **5.1%**

ロケット発射機材や衛星等、  
宇宙開発関連サービスを提供  
する企業 など



**ロボット**

市場規模成長率予想  
(2018年～2025年)

年率 **18.5%**

工場の作業自動化ロボットや  
手術用ロボット等の開発を行  
う企業 など



**遺伝子工学**

市場規模成長率予想  
(2017年～2025年)

年率 **26.4%**

がんや難病の克服を目指すバ  
イオテクノロジーに関連する  
企業 など



**バーチャルリアリティ**

市場規模成長率予想  
(2020年～2024年)

年率 **56.9%**

VR/ARシミュレーションの  
提供、VR/AR用プロセッサ  
の開発をする企業 など



**ナノテクノロジー**

市場規模成長率予想  
(2018年～2023年)

年率 **19.8%**

ナノテクノロジーを活用する  
製品や、ナノスケールの材料  
を生産する企業 など



**ドローン**

市場規模成長率予想  
(2018年～2024年)

年率 **20.5%**

ドローンの開発や搭載する画  
像・動画システムの開発  
をする企業 など



**自動運転**

市場規模成長率予想  
(2018年～2030年)

年率 **21.7%**

自律走行車の製造、歩行者・  
交通標識を認知するセンサ  
等の開発をする企業 など



**フィンテック**

市場規模成長率予想  
(2018年～2023年)

年率 **17.4%**

デジタル通貨、ブロック  
チェーン等革新的な金融サー  
ビスを提供する企業 など



**ウェアラブル**

市場規模成長率予想  
(2020年～2024年)

年率 **12.4%**

スマートウォッチなど、家  
庭・軍事・医療用に装着可能  
な機器を製造する企業 など

出所：Statista、Industry ARCのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

各テーマの市場規模成長率について、詳細は最終面に記載しています。上記、計算開始時点において出所元が算出する各期間の予想成長率（ロボットのみ2019年調査時点における予想値）を、三菱UFJ国際投信が年率換算しています。上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。上記画像はイメージです。



## - “AI”を活かした銘柄選択 -

当シリーズが連動を目指す、S&P Kenshoニュー・エコノミー指数の構築における“AI”活用の今をお届けします。



S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス  
マネージング・ディレクター  
S&P Kensho指数 グローバル・ヘッド  
ジョン・モイランド

右記コメントは作成時点のものであり、  
将来の運用成果等を保証するものではありません。

### 指数構築における“AI”活用の最前線

現代社会を取り巻く一つの大きな潮流が「第4次産業革命」です。モノのインターネット「IoT (Internet of Things)」や「人工知能 (AI)」等による技術革新が進むことにより、自動運転や仮想現実 (VR) の技術を活用した製品の開発など社会全体の変革が進んでいます。私たちはこのような第4次産業革命によって新たに生まれる投資機会を捉えるために、各テーマごとの指数を構築しています。

そしてこの第4次産業革命に関わる企業を見つけ出すために活用するのが“AI”です。S&P Kenshoニュー・エコノミー指数では、“AI”が企業の開示資料等を読み込み、各テーマに関連するキーワードの出現頻度等を元に分類を行っています。“AI”は、ルールに従った大量の演算によって規則性を見つけることを得意とします。人間が陥りがちな思い込みを避け、網羅的な分析をすることによって、新たな投資機会獲得に繋がると考えます。

次ページ以降、当社eMAXIS Neo 3ファンド（自動運転、バーチャルリアリティ、ナノテクノロジー）の運用実績と各投資テーマの注目トピックをお伝えします。





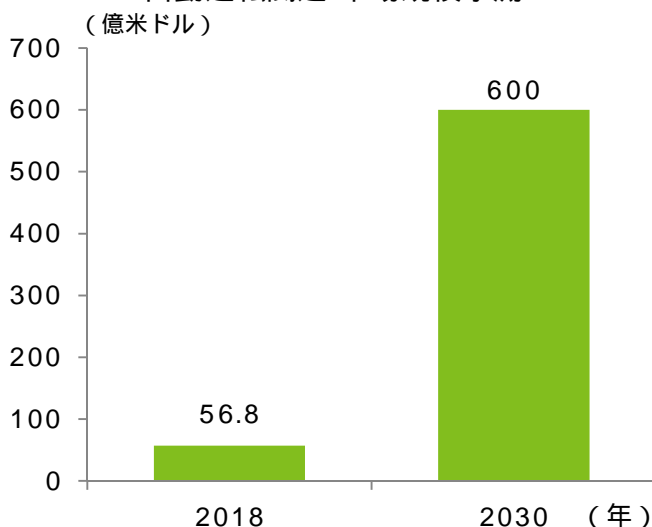
## 自動運転

### 実用化への期待が高まる自動運転技術

移動手段として生活に根づく自動車。2020年、日本では高速道路など特定の条件下で、ハンドルやブレーキの操作をシステムに任せられる自動運転機能（レベル3）実用化の発表がなされるなど、日常生活が変わる未来が訪れるかもしれません。

### 投資テーマについて

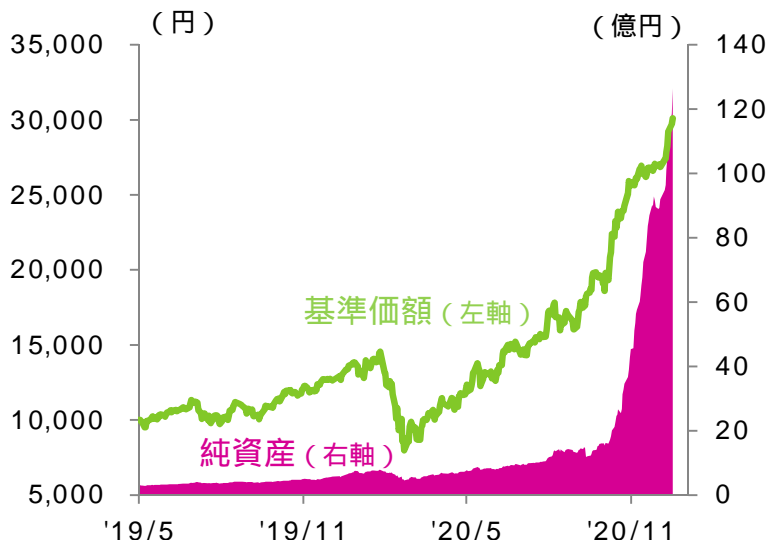
世界における  
自動運転関連 市場規模予測



出所：Statistaのデータを基に三菱UFJ国際投信作成  
時点：2018年と2030年（各数値は2018年時点の予測値）

### ファンドについて

基準価額と純資産の推移



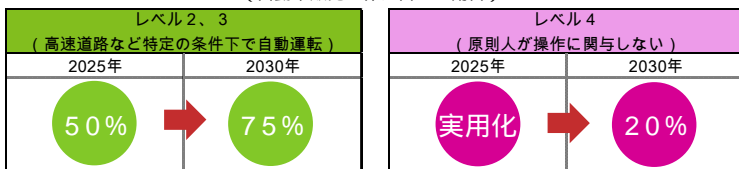
## Column

### 自動運転分野における中国の存在感

近年、自動運転分野で注目される動向の一つに、中国での国をあげた自動運転車開発が挙げられます。2020年、中国政府は2025年までに新車販売台数の50%を条件付き自動運転車とする目標を発表しました。

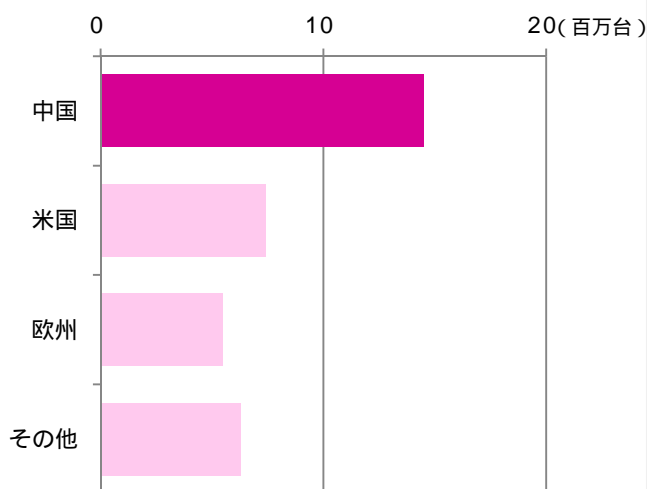
これまで同分野の技術開発は欧米がリードする形で進み、2019年には自動運転技術での米国フォード社とドイツフォルクスワーゲン社の業務提携が話題となりました。今後2040年には中国における自動運転車の販売台数が米国の約2倍まで達する（右グラフ）との試算もなされており、世界最大のマーケットである中国市場をめぐる企業間の覇権争いが予想されます。

中国政府公表 自動運転車の販売目標  
（自動車販売全体に占める割合）



出所：各種報道資料等を基に三菱UFJ国際投信作成 上記は個別銘柄の投資を推奨するものではなく、  
文章中で取り上げている銘柄を当ファンドで組み入れることを保証するものではありません。

2040年における  
自動運転車販売台数予測  
（レベル4、5の合計）



出所：Statistaのデータを基に三菱UFJ国際投信作成  
数値は2017年時点でのIHS Markitの予測値。  
レベル4、5：自動運転技術の水準を示す指標。レベル4では原則、人が操作に関与せず（走行可能領域に一部制限あり）、レベル5ではあらゆる条件下でシステムがすべての運転操作を実行する。

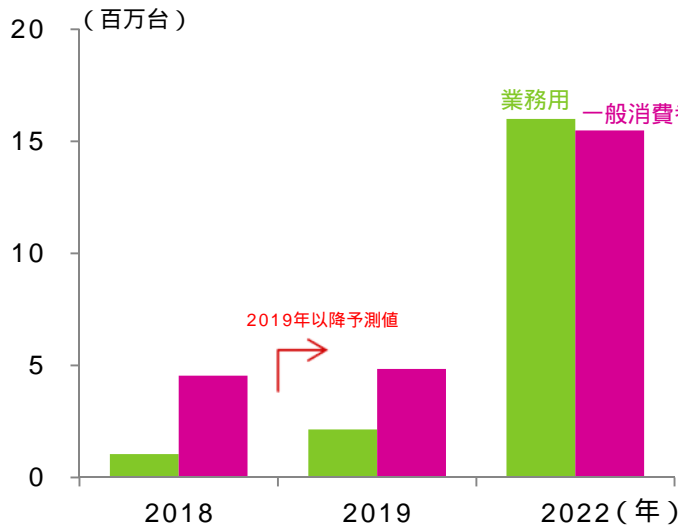


# バーチャルリアリティ

現実にはない世界を求めて  
 バーチャルリアリティ（VR）は仮想現実を体験する技術です。VRを体験できるゲーム等で製品化が進み、近年では災害で水没した車両からの脱出体験や、博物館で湖の中をVR体験するイベントが開催されるなど技術の活用幅が広がっています。

## 投資テーマについて

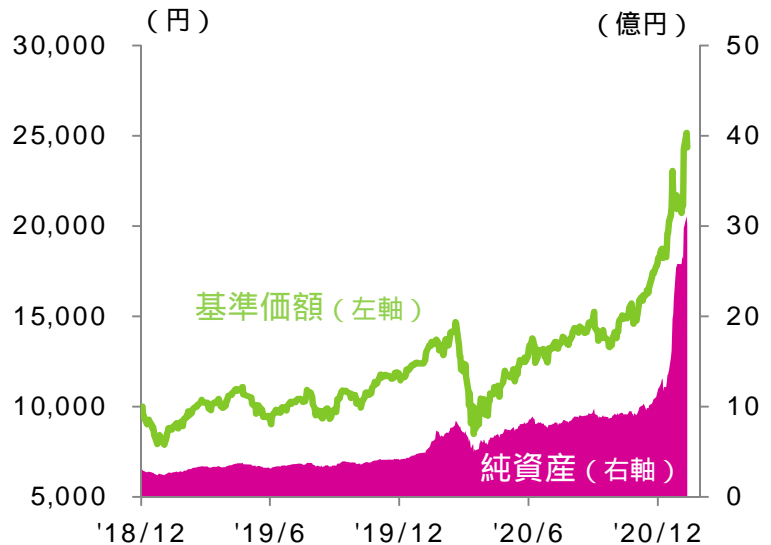
世界における  
VR用ヘッドセット出荷台数



出所：Statistaのデータを基に三菱UFJ国際投信作成  
 時点：2019、2022年の数値は、2019年調査時点の予測値

## ファンドについて

基準価額と純資産の推移



期間：2018年12月3日（設定日）～2021年1月13日、日次  
 基準価額は、1万口当たりであり、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。  
 信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

## Column

### 拡がり続ける仮想現実の世界 - XRとは -

ゲーム等の製品化とともに注目が集まってきたVR関連技術。近年では、現実世界を遮断して仮想世界のみを描くVRだけではなく、現実世界と仮想現実を重ね合わせたAR（拡張現実）、MR（複合現実）の技術も注目されています。現実世界には存在しないものを表現、体験できる技術を総称してXRと呼びます（右表）。

一方で、既存の機器においては、仮想現実を描写するグラフィック性能や演算処理速度の不足で“VR酔い”が生じるケースも多く、仮想現実を現実世界と同等に扱う段階まで至っていません。近年ではこの課題を解決するため、多くの企業が研究・開発に取り組んでいます。一例として、2019年には米国大手半導体メーカーであるエヌビディアがXRプラットフォームとして「NVIDIA CloudXR」を開発し、現実世界に限りなく近い仮想現実の実用化を目指しています。

一部の企業や研究機関では、存在しない人物が存在しているかのように錯覚させる技術（SR、代替現実）の研究等も行われるなど、VR関連市場は今後も成長が見込まれます。

VR関連の技術分類

	XR (現実世界には存在しないものを表現、体験できる技術の総称)		
	拡張現実 AR (Augmented Reality)	複合現実 MR (Mixed Reality)	仮想現実 VR (Virtual Reality)
特徴	現実世界（一部）に仮想の情報を重ねる	現実世界（視界全面）に仮想の情報を重ねる	現実世界の情報は遮断して、仮想現実のみを描く
使用するデバイス	スマートフォン 	メガネ、ヘッドマウントディスプレイ 	ヘッドマウントディスプレイ 

出所：総務省公表資料などを基に三菱UFJ国際投信作成  
 上記の分類は整理の仕方の一例であり、必ずしもVR関連技術のすべてを網羅するものではありません。上記画像はイメージです。  
 個別銘柄への投資を推奨するものではなく、文章中で取り上げている銘柄を当ファンドで組み入れることを保証するものではありません。



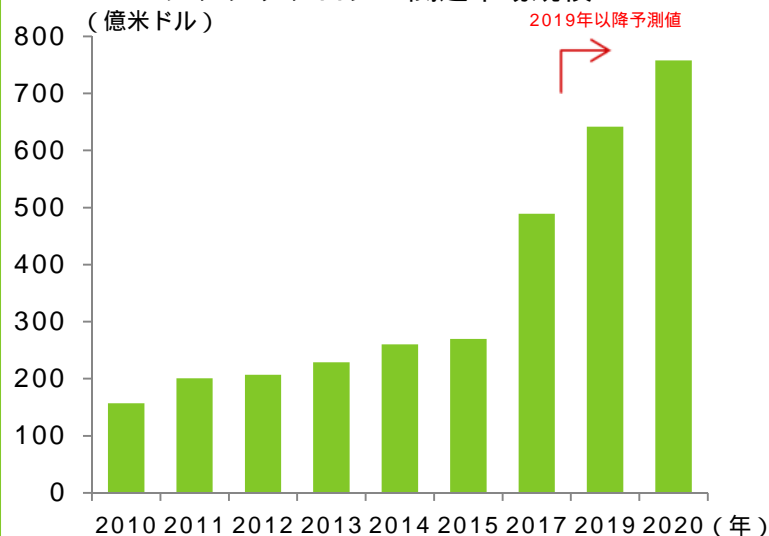
# ナノテクノロジー

顕微鏡で見えない世界の探求

ナノテクノロジーとは、原子や分子サイズの物質を制御する技術です。半導体などのエレクトロニクス産業だけでなく、人間の体内で高度なタスクをこなすバイオテクノロジー製品にも発展をもたらすことが期待されています。

## 投資テーマについて

世界における  
ナノテクノロジー関連市場規模



## ファンドについて

基準価額と純資産の推移



出所：Statistaのデータを基に三菱UFJ国際投信作成  
期間：2010年～2020年  
(2019年以降は2019年時点における予測値、2016年、2018年はデータなし)

期間：2018年12月3日(設定日)～2021年1月13日、日次  
基準価額は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。  
信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

## Column

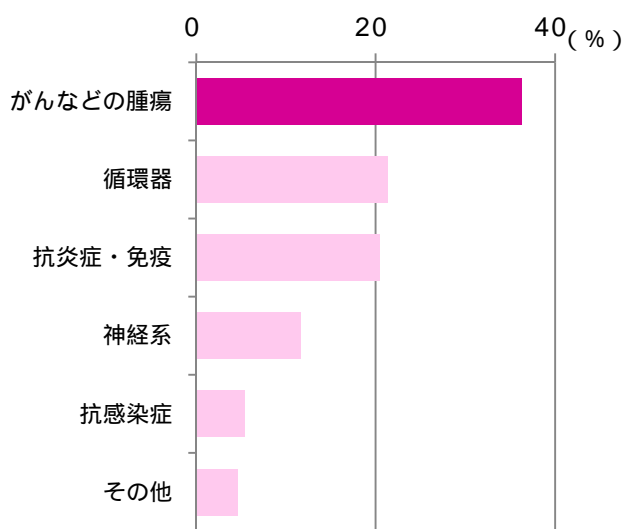
### ナノテク×バイオの融合

“ナノ”とはナノメートル(nm)の略で1メートルの10億分の1の単位です。さまざまな電子デバイスの高機能化・軽量化において欠かせないこの技術は、バイオテクノロジー分野との相互の活用が期待されています。

ナノテク×バイオの組み合わせの一例として、「ドラッグデリバリーシステム(DDS)」の研究が挙げられます。DDSは、医薬品を人体の適切な場所に、適切な量、適切な時間作用させるため、薬物の伝達をコントロールするシステムです。特に、ナノサイズの微粒子を疾患部位に集中させ、薬物の放出をコントロールするためにナノDDS技術が用いられ、抗がん剤への応用等も研究されています。

さらに2020年には、新型コロナウイルスの感染が拡大し、国内外の研究機関や企業においてウイルス分析やワクチン開発が進められました。すでに一部研究機関では、このウイルスに対してタンパク質ナノ粒子ワクチンの研究結果が報告されるなど、今後も医療をはじめさまざまな分野で活用される中で、市場が拡大していくことが期待されます。

分野別  
ナノ医薬品の占める割合  
(世界全体、2026年予測)



出所：Statistaのデータを基に三菱UFJ国際投信作成  
数値は2018年時点での予測値。



## ファンドの目的

各ファンドはベンチマーク（対象インデックス）の値動きに連動する投資成果をめざします。

## ファンドの特色

**[特色1]** 各ファンドはベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行います。  
各ファンドのベンチマークは以下のとおりです。

ファンド名	ベンチマーク
eMAXIS Neo 宇宙開発	S&P Kensho Space Index (配当込み、円換算ベース)
eMAXIS Neo ロボット	S&P Kensho Robotics Index (配当込み、円換算ベース)
eMAXIS Neo 遺伝子工学	S&P Kensho Genetic Engineering Index (配当込み、円換算ベース)
eMAXIS Neo バーチャルリアリティ	S&P Kensho Virtual Reality Index (配当込み、円換算ベース)
eMAXIS Neo ナノテクノロジー	S&P Kensho Nanotechnology Index (配当込み、円換算ベース)
eMAXIS Neo ドローン	S&P Kensho Drones Index (配当込み、円換算ベース)
eMAXIS Neo 自動運転	S&P Kensho Autonomous Vehicles Index (配当込み、円換算ベース)
eMAXIS Neo ウェアラブル	S&P Kensho Wearables Index (配当込み、円換算ベース)
eMAXIS Neo フィンテック	S&P Kensho Democratized Banking Index (配当込み、円換算ベース)

配当込み、円換算ベースの各ベンチマークは、配当込み、米ドルベースの各ベンチマークをもとに委託会社が計算したものです。

**[特色2]** 主として、米国の金融商品取引所に上場している、日本を含む世界各国の企業のうち、下記に関連する株式等（DR（預託証券））を含みます。）に投資します。

ファンド名	実質的な投資対象
eMAXIS Neo 宇宙開発	宇宙開発関連企業
eMAXIS Neo ロボット	ロボット関連企業
eMAXIS Neo 遺伝子工学	遺伝子工学関連企業
eMAXIS Neo バーチャルリアリティ	バーチャルリアリティ関連企業
eMAXIS Neo ナノテクノロジー	ナノテクノロジー関連企業
eMAXIS Neo ドローン	ドローン関連企業
eMAXIS Neo 自動運転	自動運転関連企業
eMAXIS Neo ウェアラブル	ウェアラブル関連企業
eMAXIS Neo フィンテック	フィンテック関連企業

**[特色3]** 原則として、為替ヘッジは行いません。

### 分配方針

年1回の決算時（8月17日（休業日の場合は翌営業日））に分配金額を決定します。  
分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、  
特色1～3のような運用が行えない場合があります。

## 投資リスク

基準価額の変動要因：基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動や為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なり、主なる変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスクです。各ファンドは、中小型株にも投資を行うため、大型株中心に投資する場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。上記は主なりリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## ファンドの費用

[お客さまが直接的に負担する費用]購入時手数料：ありません。 / 信託財産留保額：ありません。

[お客さまが信託財産で間接的に負担する費用]運用管理費用（信託報酬）：日々の純資産総額に対して、**年率0.792%（税抜 年率0.72%）以内**をかけた額

その他の費用・手数料：次の費用・手数料についても各ファンドが負担します。・監査法人に支払われる各ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等

その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

運用管理費用（信託報酬）および監査費用は、日々計上され、各ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。

上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、各ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

## 本資料で使用している指数について

eMAXIS Neoの各ベンチマーク（「本指数」）は、S&P Globalの一部門であるS&P Dow Jones Indices LLC（「SPDJ」）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC（「S&P」）の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。本商品は、SPDJ、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社（総称して「S&P Dow Jones Indices」）によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではありません。S&P Dow Jones Indicesは、本商品の所有者またはいかなる一般人に対して、株式全般または具体的に本商品への投資の妥当性、あるいは全般的な市場のパフォーマンスを追随する本指数の能力に関して、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証もしません。S&P Dow Jones Indicesと三菱UFJ国際投信株式会社との間に唯一の関係は、本指数とS&P Dow Jones Indicesまたはそのライセンサーの特定の商標、サービスマーク、および商標名のライセンス供与です。本指数は三菱UFJ国際投信株式会社または本商品に関係なく、S&P Dow Jones Indicesによって決定、構成、計算されます。S&P Dow Jones Indicesは、本指数の決定、構成または計算において三菱UFJ国際投信株式会社または本商品の所有者の要求を考慮する義務を負いません。S&P Dow Jones Indicesは、本商品の価格または数量、あるいは本商品の発行または販売のタイミングの決定、本商品が将来換金、譲渡、または償還される計算式の決定または計算に関して責任を負わず、またこれに関与したことはありません。S&P Dow Jones Indicesは、本商品の管理、マーケティング、または取引に関して、いかなる義務または責任も負いません。本指数に基づく投資商品が、指数のパフォーマンスを正確に追随する、あるいはプラスの投資収益を提供する保証はありません。S&P Dow Jones Indices LLCは投資顧問会社ではありません。指数に証券が含まれることは、S&P Dow Jones Indicesがかかる証券の売り、買い、またはホルドの推奨を意味するものではなく、投資アドバイスとして見なしてはなりません。S&P Dow Jones Indicesは、本指数またはその関連データ、あるいは口頭または書面の通信（電子通信も含む）を含むがこれに限定されないあらゆる通信について、その妥当性、正確性、適時性、または完全性を保証しません。S&P Dow Jones Indicesは、これに含まれる誤り、欠落または中断に対して、いかなる義務または責任も負わないものとします。S&P Dow Jones Indicesは、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証もせず、本指数またはそれに関連するデータの商品性、特定の目的または使用への適合性、それらを使用することによって三菱UFJ国際投信株式会社、本商品の所有者、またはその他の人物や組織が得られる結果について、一切の保証を明示的に否認します。S&P Dow Jones Indicesは、S&P Dow Jones Indicesは、利益の逸失、営業損失、時間または信用の喪失を含むがこれらに限定されない、間接的、特別、懲罰的、または派生的損害に対して、たとえその可能性について知らされていたとしても、契約の記述、不法行為、または厳格責任の有無を問わず、一切の責任を負わないものとします。S&P Dow Jones Indicesのライセンサーを除き、S&P Dow Jones Indicesと三菱UFJ国際投信株式会社との間の契約または取り決めの第三者受益者は存在しません。本商品は、Kenshoがスポンサー行為、保証、販売または販売促進を行うものではありません。本指数は、本商品を考慮することなく決定、構成および計算されるものであり、Kenshoは、本指数の決定、構成または計算にあたり、本商品の所有者の要望を考慮する義務を負いません。Kenshoは、本商品の所有者またはいかなる一般人に対してしても、特に本商品への投資の当否に關して、明示的にも暗示的にも、何ら表明または保証を行いません。Kenshoは、証券の価値に関して、または証券、スワップ取引、証券関連スワップ契約もしくはその他のコモディティの売買にかかる契約等商品への投資の当否に關して、投資助言を提供するものではなく、また分析もしくは報告を公表・頒布するものではありません。本指数は、投資助言にあたるものではなく、またそのようにみなしたり、または解釈されるべきではありません。Kenshoは、その可能性について知らされていたにもかかわらず、いかなる場合においても、本指数、本指数値またはその構成銘柄情報を使用する者（本商品の投資家を含みますが、これに制限されることはありません。）に対し、本指数の設計、編集、計算、メンテナンスもしくはスポンサー行為または本商品に關して生じるかかる損失、損害、費用、料金、支出その他のあらゆる債務について、それが特別的、懲罰的、間接的または派生的な損失、損害、費用、料金、支出その他のあらゆる責任（事業機会の逸失、逸失利益、時間の損失およびのれんの損失を含みます。）であるかを問わず、一切の責任を負いません。

eMAXIS Neo 宇宙開発

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号				
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号				
株式会社紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第8号				
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第77号				
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号				
西日本シティIT証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号				
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号				
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号				
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号				
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号				

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	一般社団法人 投資信託協会
三菱UFJ国際投信株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号					

eMAXIS Neo ロボット

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号				
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号				
株式会社紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第8号				
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第77号				
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号				
西日本シティIT証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号				
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号				
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号				
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号				
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号				

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	一般社団法人 投資信託協会
三菱UFJ国際投信株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号					

eMAXIS Neo 遺伝子工学

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号				
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号				
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第77号				
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号				
西日本シティIT証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号				
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号				
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号				
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号				
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号				

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	一般社団法人 投資信託協会
三菱UFJ国際投信株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号					



eMAXIS Neo パーチャルリアリティ

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号				
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号				
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号				
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号				
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号				
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号				

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	一般社団法人 投資信託協会
三菱UFJ国際投信株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号					

eMAXIS Neo ナノテクノロジー

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号				
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号				
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号				
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号				
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号				
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号				

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	一般社団法人 投資信託協会
三菱UFJ国際投信株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号					

eMAXIS Neo ドローン

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号				
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号				
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号				
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号				
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号				
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号				

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	一般社団法人 投資信託協会
三菱UFJ国際投信株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号					



eMAXIS Neo 自動運転

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号				
株式会社紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第8号				
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第77号				
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号				
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号				
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号				
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号				

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	一般社団法人 投資信託協会
三菱UFJ国際投信株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号					

eMAXIS Neo ウェアラブル

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号				
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号				
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号				
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号				
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号				

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	一般社団法人 投資信託協会
三菱UFJ国際投信株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号					

eMAXIS Neo フィンテック

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号				
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号				
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号				
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号				
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号				

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	一般社団法人 投資信託協会
三菱UFJ国際投信株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号					

## P2の各テーマにおける市場規模について

- ・宇宙開発：2018年～2040年 宇宙産業の市場規模
- ・ロボット：2018年～2025年 産業用と一般用ロボットの市場規模合計
- ・遺伝子工学：2017年～2025年 再生医学の市場規模
- ・バーチャルリアリティ：2020年～2024年 バーチャルリアリティ（VR）とオーグメンテッドリアリティ（AR）産業の市場規模合計
- ・ナノテクノロジー：2018年～2023年 ナノテクノロジー産業の市場規模
- ・ドローン：2018年～2024年 商用ドローンの市場規模
- ・自動運転：2018年～2030年 自動運転車産業の市場規模
- ・ウェアラブル：2020年～2024年 ウェアラブル機器の出荷台数
- ・フィンテック：2018年～2023年 デジタルペイメント、パーソナルファイナンス、オルタナティブレンディング、オルタナティブファイナンスの取引高合計

## 本資料に関するご注意事項等

本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

### ●委託会社（ファンドの運用の指図等）

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

＜ホームページアドレス＞ <https://www.am.mufg.jp/>

＜お客さま専用フリーダイヤル＞ 0120-151034

（受付時間 営業日の9:00～17:00）

### ●受託会社（ファンドの財産の保管・管理等）

三菱UFJ信託銀行株式会社